

受 験 番 号	
------------	--

平成 28 年 度

公立高等学校入学者選抜

【前期】

学校独自問題（宮城県石巻高等学校）

作文（小論文）

（第 4 時 13：00～13：50）

注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、開いてはいけません。
- 2 解答用紙は、この表紙の裏面になります。
- 3 「始め」の合図があったら、この表紙を取り外し、表裏それぞれの面に受験番号を記入してから、解答用紙が表になるように折り返しなさい。
- 4 問題は、2ページまであります。
- 5 問題は、第一問と第二問があります。
- 6 答えは、全て解答用紙に書き入れなさい。
- 7 「やめ」の合図で、すぐ鉛筆をおきなさい。

第 二 問 次の文章を読んで、あとの 1～5 の問いに答えなさい。

①水は、人間が生きていくために必要不可欠なものであることは、誰もが知っていることです。現在、人間社会を取り巻く水の諸問題は世界中で議論され続けています。その内容は、根本的な水不足、②環境問題、社会問題などさまざまな分野に及んでいます。日本は世界の中でも水が豊富なため、あまり意識されないことが多いのが事実でしょう。その一方、途上国を中心に深刻な社会問題に発展しています。水の諸問題が解決されれば、子供たちの就学率が改善されたり、女性の社会進出が促進されたりすると言われて

います。
地球の水の総量は、14 億 km³ と試算されています。水の惑星といわれるとおり、豊富にあるようですが、そのうち 97.5%は海水なので、直接の利用価値はあまりありません。残り 2.5%が淡水となるわけですが、氷河や深い地層にある地下水などもあるため、実際に人間が利用できる淡水は 20 万 km³ ほどです。この量は全淡水量の約 (③) %しかありません。

世界全体で見ると地理的に降水量が少ないために水不足の問題を抱えている地域があります。現在はその地域に属していなくとも、工場などで用いられる産業用水や農業で用いられる灌漑用水などで特に途上国を中心に急激に水不足が深刻化しています。前述のとおり日本ではあまり問題になっていませんが、実は日本もそれらの国々の水不足に無関係ではありません。それが④仮想水と呼ばれるものです。私たちが消費するさまざまな農畜産物を生産するためには大量の水が必要です。その生産が途上国などの外国で行われた場合、その土地の水を大量に使用することで水不足を間接的に引き起こしていることとなります。このままでは、世界的な食料不足に発展しかね

ません。
次に、⑤水に関する社会問題についてです。安全な飲料水にアクセスできない人が世界では 9 億人弱もいると言われていています。ここでいう「アクセス」とは世界保健機関 (WHO) が定義したもので、1km 以内に一人 1 日 20 リットルの水を確保できる場所がある、ということが目安です。この「アクセス」問題が解決することで連鎖的に前述の諸問題が解決されるとされています。

国際社会としては、気候変動対策をひとつのきっかけとして、社会の脆弱性をなくして災害に対して強靱な社会をつくらうとしています。紛争、貧困、飢餓など途上国が抱える問題を、気候変動対策に乗せて一気に解決していこうともしています。その時に糸口として最も活用しやすいのが水の問題なのかもしれません。

(UN WATER, WHO の資料より作成)

- 1 下線部①について、生物にとって水はなぜ必要なのか、次の語句をすべて用いて説明しなさい。

〔語群〕 化学反応 栄養物 溶解 運搬 老廃物

- 2 下線部②について、地球の温暖化による水に関わる環境問題として、どのようなことが発生しているかを**五十字以内**で述べなさい。

- 3 (③) にあてはまる数字を、小数第二位までで答えなさい。

- 4 下線部④について、仮想水とは何か、簡潔に述べなさい。

- 5 下線部⑤について、その社会問題とはどのようなことか説明し、どうしたら解決できるかを本文の内容を参考にしながら、あなたの考えを**百五十字以内**で述べなさい。

第 一 問

(ねらい)

財政をテーマに現代の日本が抱える課題に関する基礎的・基本的事項についての理解を見るとともに、問題解決に向かうために思考・判断する力、自分の考えを適切に表現する力を見ることをねらいとした。

第 二 問

(ねらい)

人間にとって最も普遍的で必要不可欠な物質である水についての文章を素材とし、基礎的・基本的な知識・理解を見ることや、環境問題や社会問題との関連性についての思考力・判断力・表現力を見ることをねらいとした。